

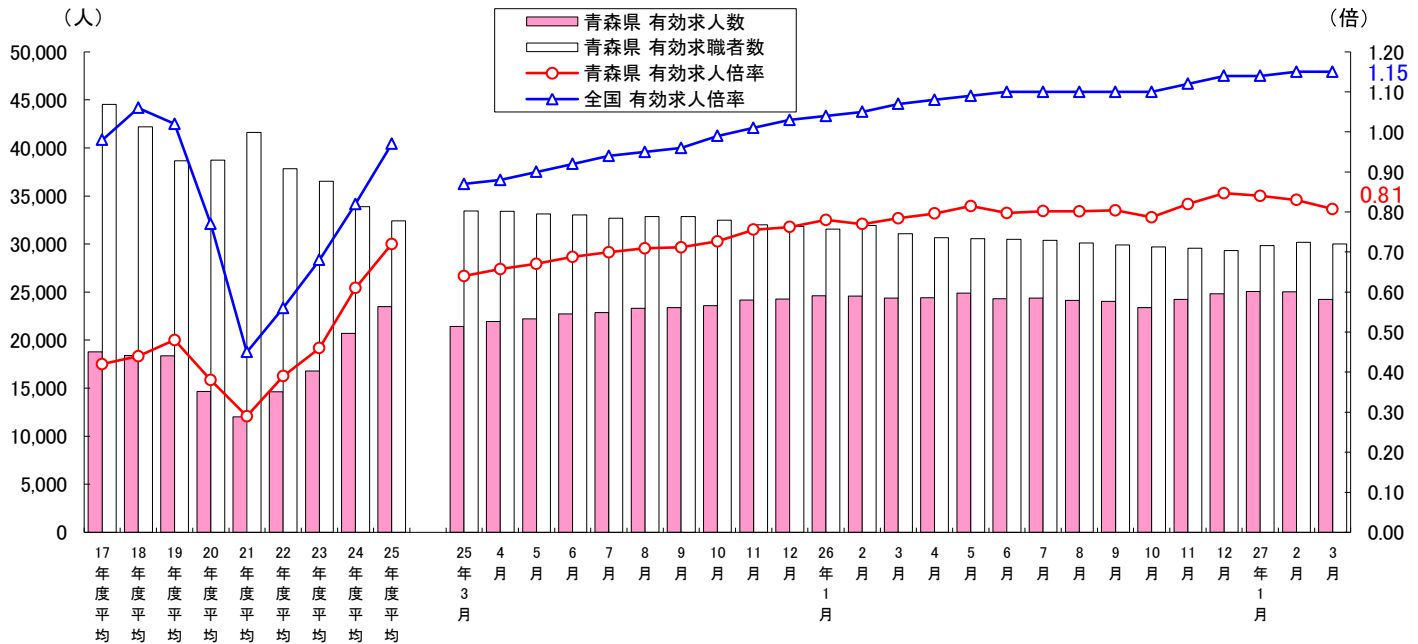
最近の雇用情勢について

(平成27年3月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

3月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ3.3%減少の24,229人、有効求職者数(同)は0.5%減少の30,017人で、有効求人倍率(同)は前月より0.02ポイント低下の0.81倍となった。

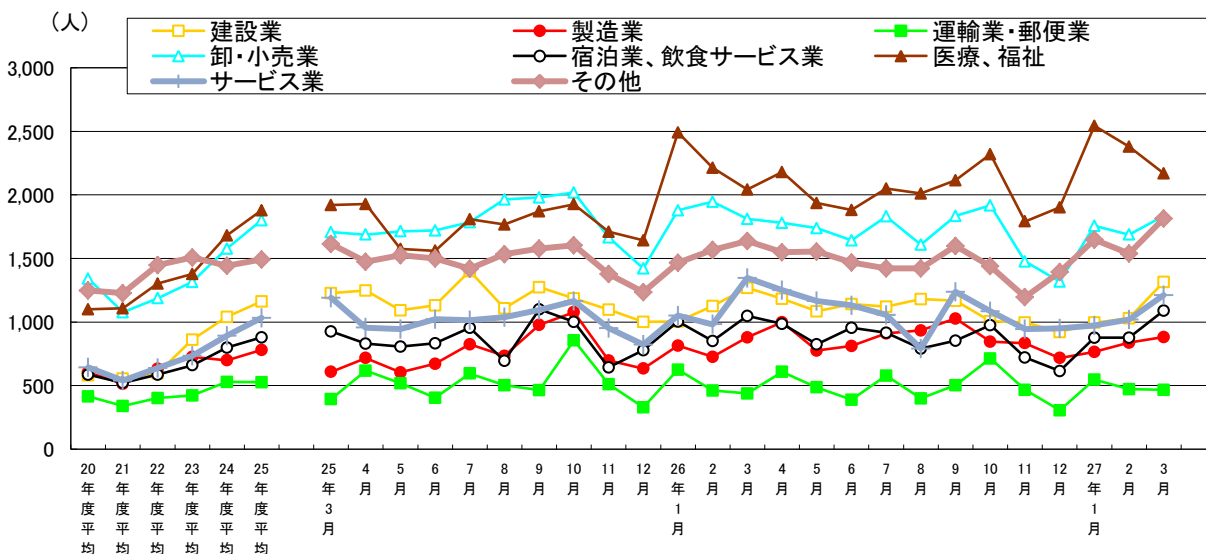


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

3月の新規求人(原数値)は前年同月比3.0%(309人)増加、前月比9.5%(937人)増加の10,781人。

産業別に前年同月と比較すると、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉等で増加し、サービス業では減少となった。製造業では、木材・木製品製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等では減少となった。



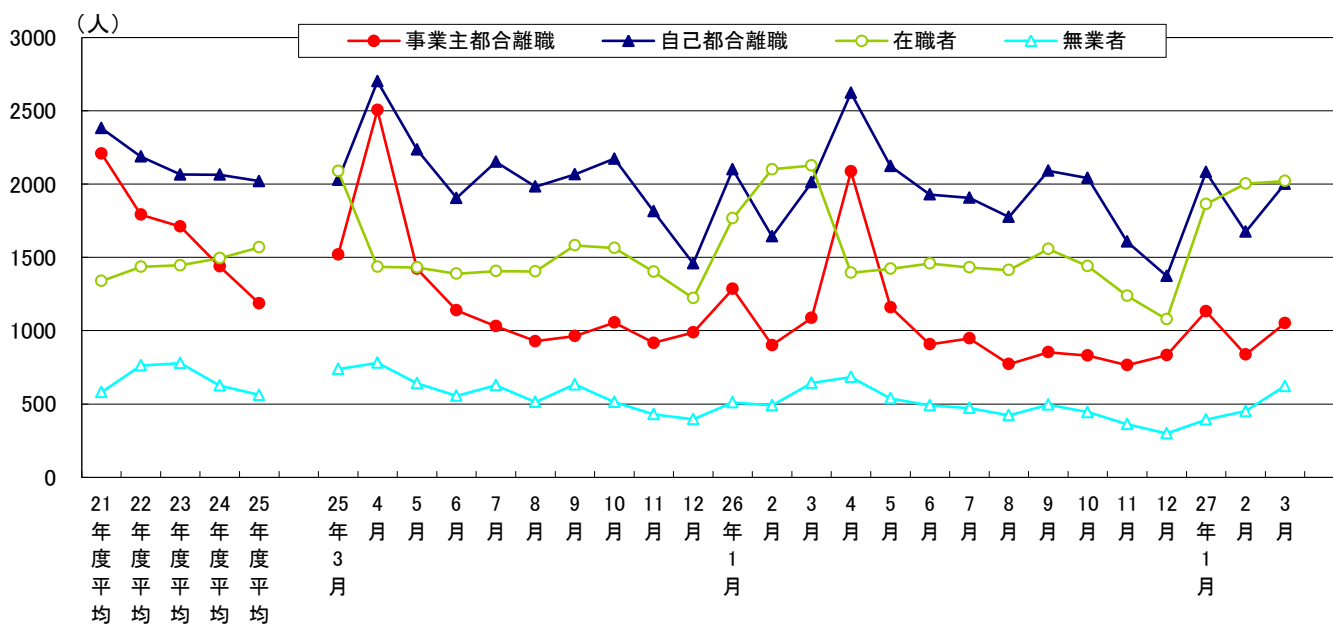
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

3月の新規求職者数は、前年同月比2.8% (166人)減少、前月比15.0% (759人)増加の5,816人。

求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は4.9% (105人)減少し、離職者は1.2% (39人)の減少、無業者も3.4% (22人)の減少となった。

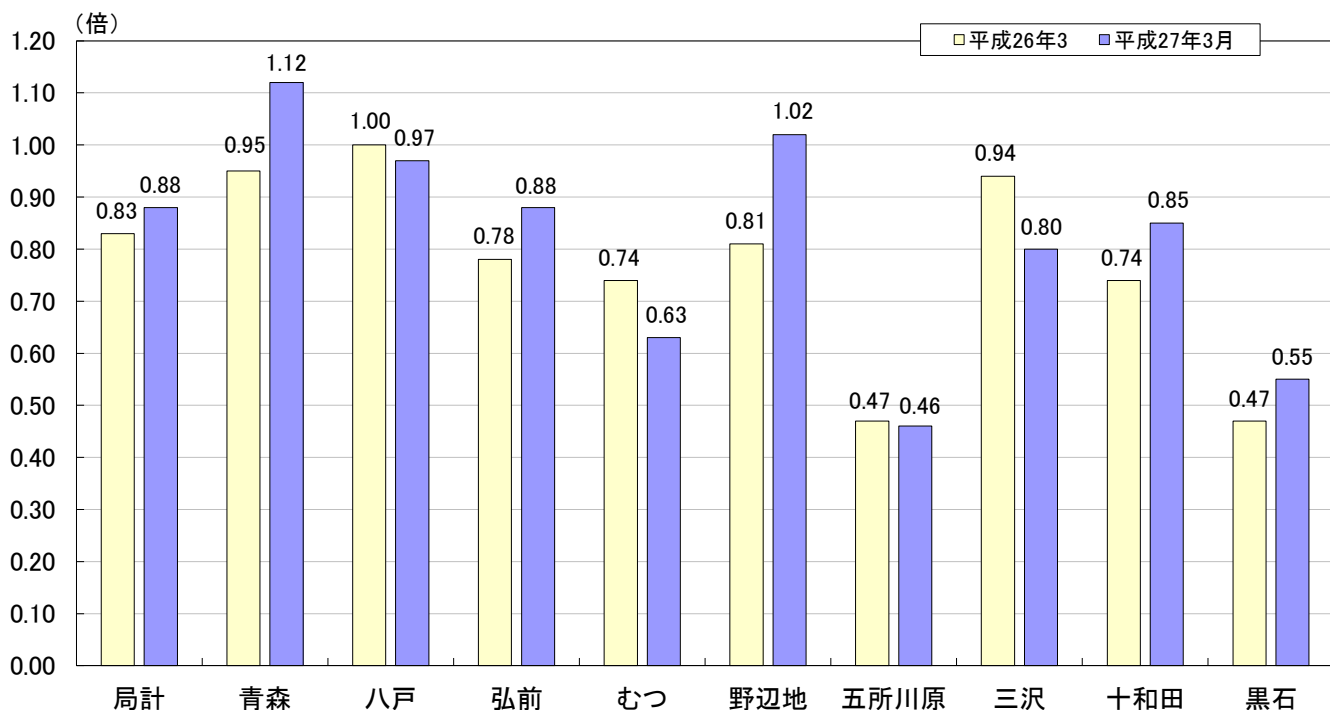
離職理由でみると、事業主都合は3.3% (36人)の減少、自己都合は0.5% (11人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

3月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.88倍となり、前年同月を0.05ポイント上回った。

各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

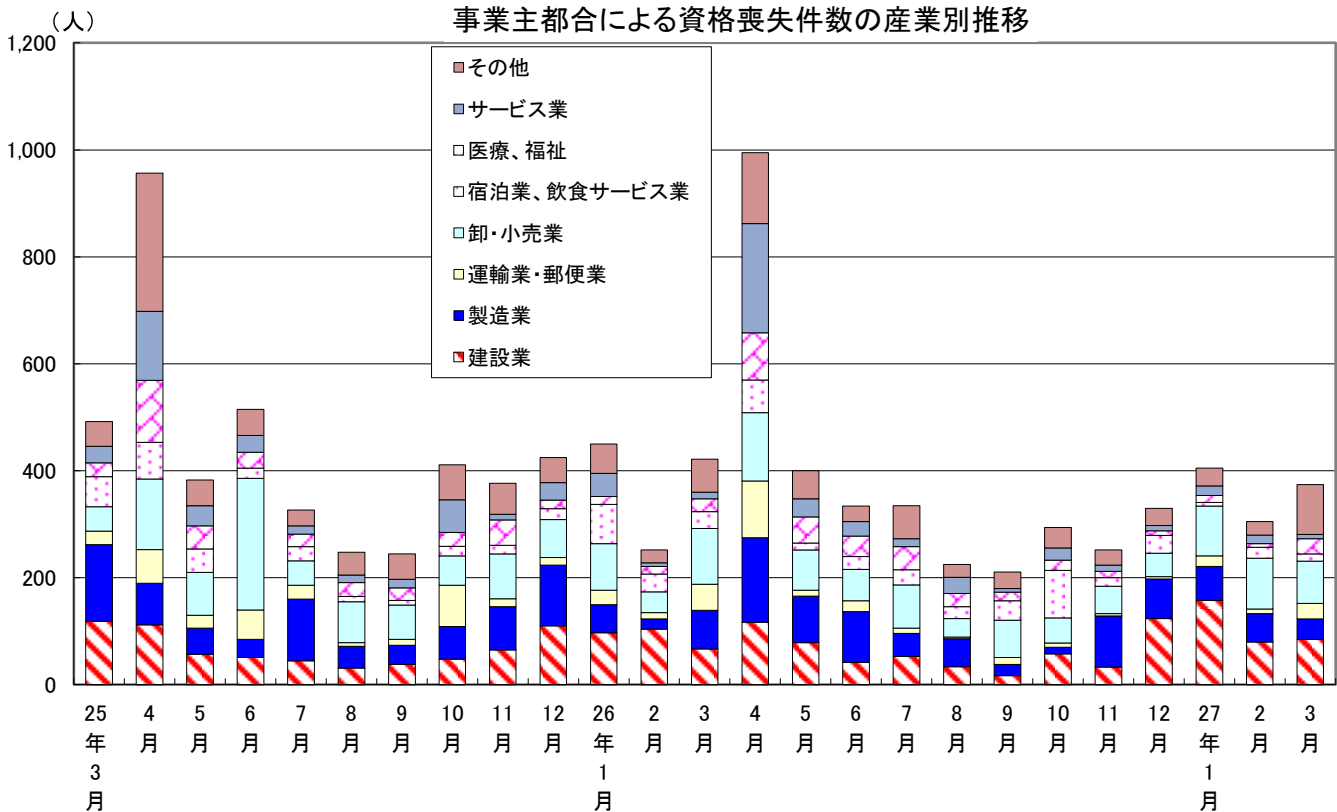
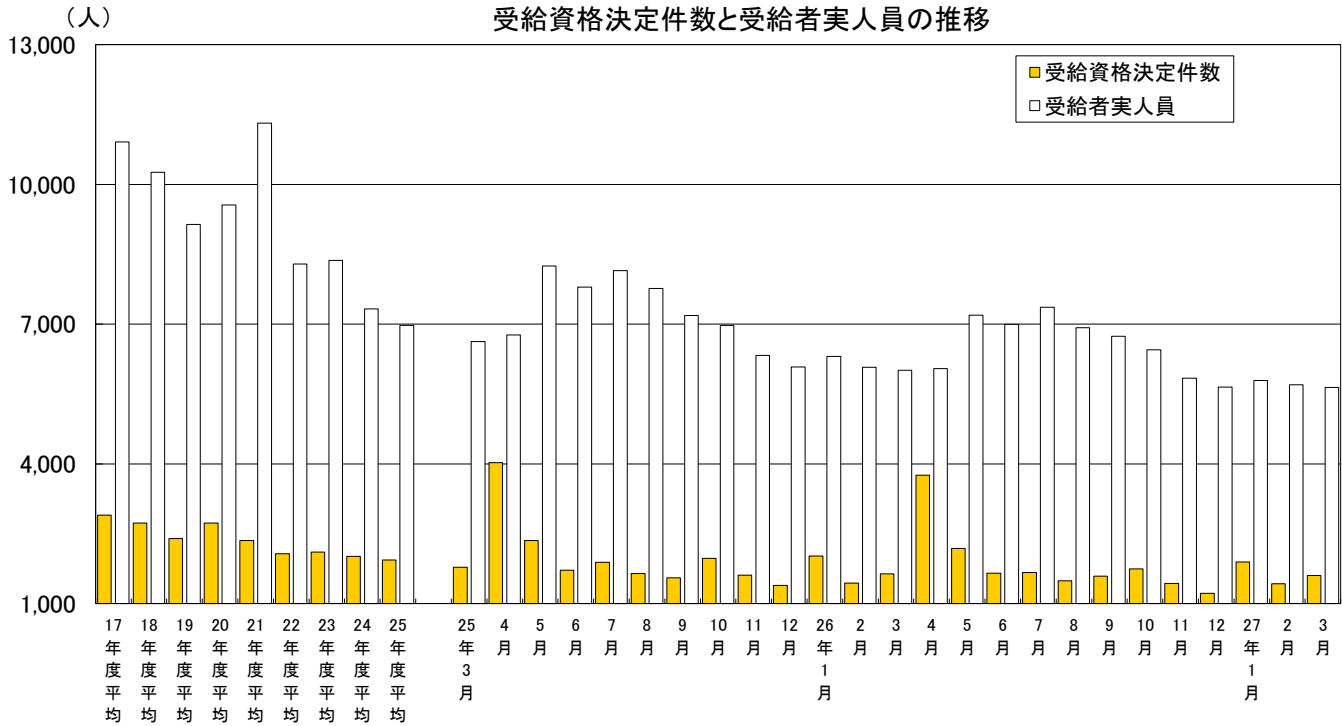


| | 局計 | 青森 | 八戸 | 弘前 | むつ | 野辺地 | 五所川原 | 三沢 | 十和田 | 黒石 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 有効求職者数 | 29,933 | 7,350 | 6,679 | 5,237 | 1,536 | 1,012 | 2,973 | 1,879 | 1,566 | 1,701 |
| 有効求人数 | 26,465 | 8,196 | 6,512 | 4,602 | 964 | 1,037 | 1,379 | 1,506 | 1,330 | 939 |

V 雇用保険の状況

3月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比6.1%（365人）減少、前月比では1.0%（58人）減少の5,643人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比2.1%（35件）減少、前月比では12.6%（180件）増加の1,604件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比21.0%（53人）増加、前月比24.7%（100人）減少の305人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。